

お月見献立

9月21日(火)は中秋の名月(十五夜)。給食は、「お月見献立」でした。



中秋の名月は、芋名月とも言われ、この時期に旬を迎える芋類の収穫を祝い、感謝の意を込めてお月さまにお供えします。給食では「こいもごはん」が登場しました。「さんまの塩焼き」や秋なすを使った「なすのみそ汁」など、秋の訪れを感じる献立でした。秋なすは、夏に収穫されるなすよりも安定した気候で栽培されるため、実が締まっておいしくなります。

「中秋」「十五夜」は、旧暦の8月15日のことを意味します。旧暦は月の満ち欠けで日付が決められます。新月(1日)からだいたい満月になるころが15日になります。そのため中秋の名月は毎年同じ日、そして満月の日になるとは限らないのです。今年は曇っていて見えにくかったのが残念でしたが、8年ぶりに満月の日となったそうです。

